



学校要覧

子どもたちは、
だれもが世界にたった一人しかいない、
かけがえのない価値を持った存在です。

どの子ども、自分らしく成長できる学校
どの子ども、互いの価値を尊重し合える学校
どの子ども、学びが面白い！と感じる学校

私たちは、
そんな学校の実現を目指します。



TSUNEISHI 常石小学校

〒720-0313 広島県福山市沼隈町常石984-1

TEL (084) 987-1340 Fax (084) 987-1340

shou-tsuneishi@edu.city.fukuyama.hiroshima.jp

※2020年度より、1～3年生の異学年集団による教育活動を先行実施、そして
2022年度より、イエナプラン教育校へと完全移行します。

福山100NEN教育

次の100年へ、更にその先の未来に向かって

～私たちの毎日が、未来になる～

子ども主体の学び
全教室展開
学びが面白い！
カラフル

イエナプラン教育

<基本理念>

21世紀型“スキル&倫理観”を、日々の授業を中心とした教育活動の中で育み、日常の様々な場面で行動化できる確かな学びにしていきます。

福山100NEN教育が描く未来は、変化の激しい社会の中で、「子どもたちは、自分の夢の実現に向かって、ローズマインド（思いやり・優しさ・助け合いの心）を胸に、福山で、日本で、世界で、たくましく生きている。そして、環境・貧困・人権・平和・開発等、現代社会の様々な問題を自らの問題として捉え、それらの課題解決のために、様々な人々と協働して、持続可能な社会を創造している。」という姿です。



<精神> … 20の原則

- 1～5 めざす理想の人間像 6～10 理想の社会像
11～20 その実現に向けた学校像

人間について どの人も…

- 1 世界にたった一人しかいない。（かけがえのない価値）
- 2 自分らしく成長していく権利を持っている。
- 3 自分らしく成長するために、他者、自然や文化、様々なものとの関係を大切にしなければならない。
- 4 その人にしかない人格を持った人間として受け入れられ、尊重されなければならない。
- 5 文化の担い手、改革者として受け入れられ、尊重されなければならない。

社会について 私たちは…

- 6 それぞれの人がもっている、かけがえのない価値を尊重しあう社会をつくる。
- 7 それぞれの人のアイデンティティを伸ばす社会をつくる。
- 8 人と人との違いやそれぞれの人の成長や変化を受け入れる社会をつくる。
- 9 地球と世界を大事にし、よりよい社会をつくる。
- 10 自然や文化の恵みを、未来に生きる人たちのために、責任を持って使う社会をつくる。

学校について 学びの場は、では…

- 11 かかわっている全ての人にとって、独立かつ共同して作る組織。社会からの影響も受けると同時に、社会にも影響を与える。
- 12 働く大人たちは、1 から 10 までの原則を子どもたちの学びの出発点として仕事をする。
- 13 教えられる教育内容は、実際の暮らしの世界、知識や感情を通して得た経験の世界、社会が持っている文化の恵みの中から引き出される。
- 14 教育活動は、教育学的によく考えられた道具や環境を用意して行う。
- 15 教育活動は、対話・遊び・仕事（学習）・催しの4つの基本的な活動を交互にリズミカルに行う。
- 16 子どもたちがお互いに学び合い・助け合いができるように、年齢や発達の違う子どもたちを組み合わせたグループをつくる。
- 17 一人でできる遊びや学習と、グループリーダーが指示・指導する学習を交互に行う。
- 18 学習の基本である、経験・発見・探究と、ワールドオリエンテーションが中心的な位置を占める
- 19 子どもの行動や成績の評価は、成長の過程を見ろという観点を大切に、子ども自身と話し合いをする形で行う。
- 20 何かを変えたり、より良いものにしたりする活動を常に行うことが必要。そのためには、実際にやる、それについてよく考えることを、いつも交互に繰り返す態度が大切。

めざす子どもの3つの姿

めざす子どもの姿として、次の3つを設定しました。これらの実現を通して、子ども一人ひとりの可能性を最大限に伸ばしていきたいと考えています。

自立

自ら考え学ぶ子 学びに責任を持つ子

共生

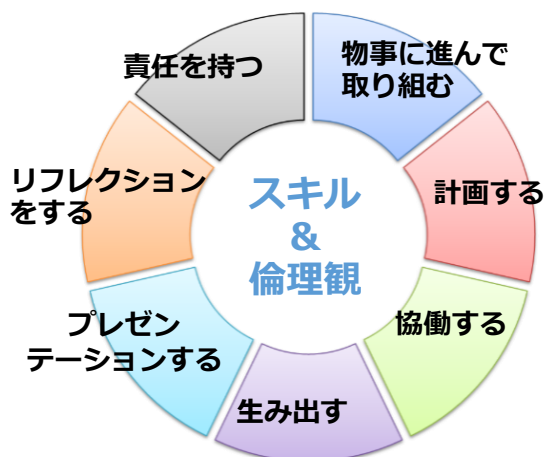
協働する子 違いを尊重し合う子

自己実現

自己を認識できる子 よさを生かし成長する子

本校がめざす 21世紀型“スキル&倫理観”

めざす子どもの3つの姿に向け、身に付けさせたい21世紀型スキル&倫理観は、次の7つ。日々の教育活動全体を通して、これらの能力を高める取り組みを行っていきます。



常石小学校 学びの特徴

異年齢集団でのグループ編成

- ◆ 1年生から3年生までの3学年による異年齢集団を基本単位として教育活動を行います※。
- ◆ 年長者が年少者を助けたり、教えたりということがより日常的に行われるようになります。
- ◆ 個性や発達程度の違いが当たり前のように受け入れられるようになります。
- ◆ 教科等の学習では、学年を超えた学びの展開が可能となります。

※4～6年生までは一部の教育活動で実施。2022年度より完全実施。



4つの基本活動に基づいた時間割

- ◆ 4つの基本活動である対話・遊び・仕事・催しをもとに教育活動を行います。
- ◆ 機械的に時間を区切るのではなく、子どもの状況に応じて、活動の時間を延ばしたり縮めたりしながら行います。
- ◆ リズミカルに活動が循環するよう、学校の日課を設定していきます。

対話（サークル対話）

- 個人を尊重する気持ちを育み、学級を信頼関係のある集団に育てていきます。
- サークル対話はクラスの全員が円座になって行います。
- 朝と帰りの時間だけでなく、一日の中で必要に応じて行います。



遊び

- 「遊び」そのものが「学び」であり、考える力や協働する力を付けていきます。
- 一日の教育活動の中に「遊び」を入れていきます。
- 様々な場所で、子どもがやりたいことを自由に選択して遊ぶことができる環境づくりを行います。



仕事（ブロックアワー）

- 子どもが1週間の学習計画を立て、自分で学び続ける力を付けていきます。
- 子どもの状況に応じて学習を進めます。
- 自立学習やインストラクション（教師による指導）、学年の内容を超えた共通の問いについて考えることなどを、組み合わせて行います。

仕事（ワールドオリエンテーション）

- 生きた本物の題材から問いを見出し、探究し続ける力を付けていきます。
- 教科の内容を関連付けて学習していきます。
- 本物の問いと向き合い、異年齢集団で協働的に探究していくことで、教科・学年の枠を超えて学んでいきます。

催し

- 子どもたちが喜びや悲しみなどを一緒に分かち合います。
- 運動会や学習発表会などの行事だけでなく、誕生日のお祝いをしたり、その週の学びを簡単なプレゼンテーションや演劇にして発表したりします。
- 他の学年や保護者、地域の方と共有したりすることもあります。

ある一日の日課表

	内容
8 : 20	読書
8 : 35	サークル対話
8 : 50	ブロックアワー
9 : 40	ブロックアワー
10 : 25	休憩
10 : 45	体育
11 : 30	音楽
12 : 20	給食
12 : 55	休憩
13 : 25	そうじ
13 : 45	ワールドオリエンテーション
14 : 30	催しやサークル対話
15 : 00	下校

子どもたちにとってよりよい学びの環境をめざして

教室

- ◆ 常石小学校の教室は、子どもたちにとって居心地のよい「リビングルーム」であるとともに、多様な学びの形態に柔軟に対応できる空間を目指します。
- ◆ 2020年3月に一部の改装が終了しました。2022年度までに全ての普通教室を改装する予定となっています。
- ◆ 先生と子どもたちが、いつでもサークル対話できる場所や、子どもたちがグループで作業したり、一人で学んだりしやすいように様々な工夫がされた設計となっています。



さらに学びが面白くなる オープンスペース

- ◆ 子どもたちが催しを行ったり、のんびり読書をしたり、語り合ったりする場所となります。
- ◆ 2022年度に完成する校舎一階部分の空間は、子どもたちの多様な学びが展開できる空間へと生まれ変わります。
- ◆ 地域の方々も利用できるランチルームなども併設し、地域社会に開かれたオープンスペースとなる予定です。



学校基本情報

(1) 学年別児童数

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援 (自閉・情緒)	特別支援 (知的)	合計
男	8	11	7	7	7	5	1	5	51
女	13	7	3	6	8	5	2	5	49
計	21	18	10	13	15	10	3	10	100

(2) 児童数・学級数の推移

年度	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3
児童数	85	87	80	90	91	85	70	86	100
学級数	8	8	8	8	8	8	8	9	9

(3) 職員

職名	氏名	主任等	学級担任
校長	甲斐 和子		
教頭	黒小 大介		
教諭	寺井 勇貴	教務主任	5年担任
教諭	福永 恭子	研究主任	低学年1組
教諭	高橋 沙奈		低学年1組
教諭	川崎 知子		低学年2組
助教諭	牧野 恵		低学年2組
教諭	水野 拓海	生徒指導主事	4年担任
教諭	恵美 佑介		6年担任
助教諭	河上 えり菜		のびっこ1担任
教諭	水成 彩加	特別支援コーディネーター	のびっこ2担任
教諭	菊池 有加莉		のびっこ3担任
教諭	小田原 裕美子		専科
養護教諭	萩原 桂子	保健主事	
事務主任	浅野 優子		
看護介助員	岩崎 春菜		
介助員	梶田 亜依		
学校支援員	土居 千紗		
図書館支援員	片岡 美加		
校務補助員	村上 式部		
教諭	栗原 あゆみ	育休	